

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

「家庭学習スタンダード」に基づく取組

いわき市立小川中学校・小川小学校・小玉小学校

小川中学校区では、与えられた課題や宿題を計画的に進める児童生徒の割合は全国比より高い。課題は、授業時間以外の学習時間の確保が十分ではない点である。今年度は、家庭学習の習慣化を図るため、家庭と連携して指導に取り組んできた。

取組のねらい

「学校・家庭が連携して、家庭学習の習慣化を図る」

小川中学校区の児童生徒は、指示されたことを素直に聞いて行動することができる。授業においても課題に真剣に取り組む児童生徒が多い。しかし、学習の定着度や意欲については小・中共通して課題がみられる。家庭学習においては「集中して取り組んでいる（例：テレビ等を見ながら学習しない）」とアンケートに回答した生徒が約43%と、家庭学習の方法の改善は必須である。そのため、学校・家庭が連携して、家庭学習を充実させる取組を実施してきた。

取組の内容

(1) 家庭学習の手引きを作成

第1回推進地域連絡協議会の中で、これまで活用していた「家庭学習の手引き」を再検討し、各学校の実態に合わせ、児童生徒用、保護者用の「家庭学習の手引き」を作成した。

(2) 小学校における「家庭学習スタンダード」に基づいた実践

① 授業と家庭とのつなぎ ～学習内容に合わせて宿題等の提示～ ※実践例の一部

- 【国語科】○登場人物の様子や行動、心情、情景など、観点ごとに教科書にサイドラインを引いた。
- 新出漢字を使った熟語や同じ音訓をもつ漢字を調べ、授業でそれを用いた文章や問題文づくりを行った。
- 戦争について家人から話を聞いたり、戦争に関する本を読んだりした。
- 【社会科】○用語の意味調べやグラフ・表を見て分かったことを書いた。
- 【算数科】○定着度の低い問題を中心に、個別問題に取り組んだ。

② 「家庭学習習慣点検」および「ノーメディア運動」の実施
「家庭学習習慣およびノーメディア運動点検カード」を配付し、家庭学習ファイルに添付する。毎週の実績を評価し、月末には児童の反省と保護者からコメントを記入してもらう。

- 家庭学習およびノーメディアの目標設定
- 家庭学習時間、学習の進め方の点検
- 音読、読書の確認
- 翌日の学習用具の点検

家庭学習習慣 および ノーメディア運動 点検カード (11月)

小川小学校 () 年 名前 ()

下のノーメディア運動の目標(レベル1～4)から自分の目標を設定し、評価を立てよう。また、家庭学習の習慣がしっかりと身につくように、自分の生活を見直そう。

レベル1 読書や学習中はメディアを使わない
レベル2 メディアの使用は一日1時間以内にする
レベル3 家に帰ってからメディアを使わない
レベル4 一日中メディアを使わない

自分の目標レベルは [] レベル []

曜日	月	日	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)
ノーメディア運動 (自分の目標レベルが達成できるといふ)						
学年の学習時間は [] 分						
家 自分の家庭学習の目標						
学 決まった時間前に計画的に学習を進めた						
習 今日の宿題・やるべき課題を終わらせた						
備 テレビなどを消し、集中して学習した						
備 家の人の前で、音読をした						
◎ 家で読書をした(先週木曜日～今日まで)						
△ 明日の学習用具を点検した(前日に行う)						
× 記入した内容を確認した(ほかの「机について」の付録)						
保護者 おうちの学びの習慣を話し、コメント(読書)を 記入してください。(記入は必須)						
担任 印						
【月の反省】						
【おうちの学びから(毎月最終チャレンジ日)】						

(3) 中学校における「家庭学習スタンダード」に基づいた実践

① 授業と家庭とのつなぎ ～学習内容に合わせて宿題等を提示～ ※実践例の一部

【国語科】授業で実施した内容（漢字、文法、音読等）のアウトプットを3回実施した。
【社会科】次時の学習内容に関する資料の読み取りや人物の調べ学習を行った。
【数学科】1週間に学んだ内容の復習問題を「週末課題」として取り組んだ。
【英語科】予習として、授業で実施する英文をノートに複写し、英文翻訳を行った。
【家庭科】長期休業中に実践してみたい家事について計画を立て、実施後保護者に実施状況についての意見・感想をもらった。さらに、夏休みの反省を生かし冬休みの実践につなげた。

② 学習計画表における自己評価及び保護者アンケート

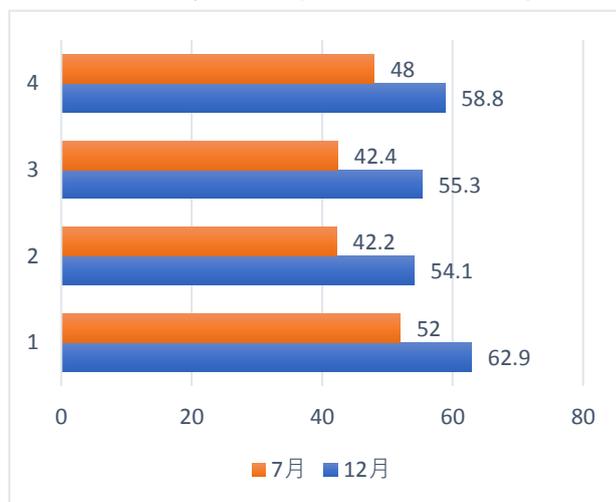
学習計画表を活用し、R-PDCA サイクルを通して、自らの学習や生活について改善を図った。学習計画表に、保護者の家庭学習に関する評価欄も作成し、学校・家庭で連携して取り組んだ。

③ 保護者対象アンケートの実施

中学生保護者対象のアンケート

【質問事項】

- 1 子どもは具体的な学習計画を作成することができた。
- 2 子どもは学習計画に従って復習することができた。
- 3 教科や学習内容に合わせて、復習方法を工夫することができた。
- 4 子どもは、集中して学習に取り組んでいた。



(4) 推進地域における環境、習慣づくり

- ① 食育を推進し、「親子ふれあい弁当デー」や「朝食調べ」等を実施した。
- ② テレビやゲーム、スマホ等のモラルについて、授業参観における全校一斉道徳の実施や保護者対象の情報モラル講演会を実施した。
- ③ 学校・家庭・地域が協力し、小・中学生が縦割りのグループで地域の行事に参加した。
例：いかだづくり体験、門松づくり、秋祭りボランティア、お神輿担ぎ、町内駅伝大会

実践して見えてきたこと

(1) 家庭学習の実施状況の把握

家庭での学習方法について十分に把握できていない現状がある。また、保護者のアンケートからも、子どもの学習の状況は把握できても、内容までは把握できていないことが分かる。

- 年度当初に家庭学習の方法についての共通理解

(2) 授業と家庭学習をつなぐ、課題の工夫

単元を見通した計画性のある課題の作成が必要である。

- 学習内容に応じた、計画的な課題の作成
- 活用力を育成するため、授業で習得した内容を活用する課題提示の工夫

(3) 個に応じた家庭学習への支援

生徒のアンケート結果から、家庭学習の方法が分からない生徒が多くみられた。自己マネジメント力を育成するためにも、個に応じた家庭学習への支援が必要である。

- 実施時間の設定（いつ行うか）、場所の設定（どこで行うか）、内容の吟味（何を行うか）、方法の吟味（どのように行うか）の具体的な指導



かていがくしゅうのてびき (1ねんせい) 小川小学校



◎ がっこうで がくしゅうしたことが しっかりとみにつくように、おうちでも じぶんから すすんで とりくみましょう。

はじめるまえに

- ◇ きまったじかんにきまったばしょで、がくしゅうしましょう。
- ◇ まわりをせいとんし、テレビやおんがく、ゲームきはけしましょう。



やること

じかん
30ぷんぐらい

- 1 おんどく
- 2 しゅくだい (こくごドリル, さんすうドリル, プリント など)
- 3 けいさんカード
- 4 どくしょ

かていがくしゅうのしかた

【こくご】

《おんどく》

- こくごの きょうかしよを、おおきな こえで よむ。
- くちを おおきく あけて はっきりよむ。
- 「、」や「。」や、はやさに きをつけて すらすらよむ。



《ひらがな・かたかな・かんじ》

- かきじゅんや おくりがな、じのかたちに きをつけて、ていねいにかく。

《どくしょ》

- すきなほんをよんだり、おうちのひとに よみきかせしてもらったりする。

【さんすう】

- プリント や ドリル, けいさんカードを つかって, けいさんれんしゅうを する。
- もんだいをはやくとけるように, くりかえし れんしゅうする。
できるようになったら, すばやく いえるようにする。(じかんを はかる)
- まちがえたもんだいは, もういちど ちゃれんじする。

【そのほか】

- そだてている しょくぶつや むしなどの, いきものの かんさつをする。
- たのしかったことや うれしかったことを, にっきに かく。

おわったら



- ◇ れんらくちょうや がくしゅうしたところを, いえのひとにたしかめてもらい, かならず サインをして もらいましょう。
- ◇ じかんわりをたしかめて, あしたのよういを しましょう。
- ◇ えんぴつ・けしゴムなど, ふでいれのなかを かくにんしましょう。
- ◇ がくしゅうしたところの せいとんを しましょう。

チャレンジがくしゅうのれい

【 こくご 】

- ことばあそび（しりとり・かるた…など）をする。
- ことばあつめをする。
（「あ」のつくことば・かたかなのことば・かんじをつかうことばなど）
- にっき・えにっきをかく。
- きまりをきめて、どくしょをする。

- ・まいにち ○ふん よむ。
- ・まいにち ○ページ よむ。
- ・むかしばなし（にほんのおはなし・がいこくのおはなしなど）をよむ。
- ・シリーズもののほんをよむ。（ゾロリシリーズなど）
- ・おなじさくしゃのほんをよむ。

【 さんすう 】

- かずあそび（すごろく・トランプなど）をする。
- つみきや ブロックあそびをする。
- とけいで じこくをよんだり， がくしゅうや あそびのじかんを きめたりする。
- ものをかぞえたり， おなじかずずつ わけたりする。
- おかいもののおてつだいをして， おかねをはらったり， おつりをもらったりする。
- ひやくますけいさんで， こたえを はやくただしく かけるようにする。
- おはなしの もんだいづくりをする。

（れい） 5 + 3 のもんだい

あめだまを5こもっています。おかあさんから3こもらいました。あめはぜんぶでなんこになりましたか。

しき $5 + 3 = 8$ こたえ 8こ



【 そのほか 】

- そだてているしょくぶつや むしの かんさつをして， つづけてきろくする
- けんばんハーモニカの れんしゅうをする。
- なわとびや てつぼうなどの れんしゅうをする。
- たいりよくづくりをする。（おうちのひととラジオたいそう， ランニングウォーキング， ストレッチ・さかだち…など）

《お家の方へ》

1 音読

- 毎日、「音読のしかた」にそって、お子さんの音読を聞いてあげてください。
- ほめたり、はげましたり、言葉かけをお願いします。

2 計算カード

- 毎日「たし算カード」と「ひき算カード」の答えを正しく言えるように練習させてください。
- 最初のうちは、指やブロックなどを使って正しく言えるように励ましてあげてください。だんだんできるようになってきたら、正しく素早く言えるように、時間を計ってあげてください。

3 宿題の確認

- 宿題は、国語と算数を中心に出します。
- 用紙の端のところに、お家の方のサインか押印をお願いします。



4 お手伝い

- ・ お手伝いは、毎日続けてできる簡単なことから始めさせるといいですね。(例：配膳、後片付け、・・・など)





家てい学習の手びき (2年生) 小川小学校



- ◎ 学校で 学しゅうしたことが しっかりとみにつくように、おうちでも じぶんから すすんで とりくみましょう。

はじめる前に

- ◇ きまった時間にきまったばしょで、学しゅうしましょう。
- ◇ まわりをせいとんし、テレビや音がく、ゲームきは、けしましょう。



やること

時間のめやす
40分くらい

- 1 音読
- 2 プリント
- 3 かん字ドリル, かん字れんしゅう
- 4 自しゅ学しゅう
- 5 日記 (週まつ)

家てい学しゅうのしかた

【 こくご 】

《 音読 》

- こくごの教か書を、「,」「。」や、はやさに気をつけて はっきりと読む。

《 かん字 》

- 書きじゅんや おくりがな、字の形に 気をつけて、ていねいに書く。

【 さん数 】

- プリント や ドリル, 計算カードを つかって, 計算れんしゅうをする。
- もんだいをはやくとけるように, くりかえし れんしゅうする。
できるようになったら, すばやく 言えるようにする。(時間を はかる)
- まちがえたもんだいは, もう一ど チャレンジする。

【 生かつ 】

- そだてている しょくぶつや 虫などの, 生きものの かんさつをする。
- かぞくのために, おうちのしごとのお手つだいをして, やったことやかんそうを 絵や文でかく。



じしゅ学がくしゅうのしかた

- 家てい学しゅう用の ノートを 用いましょう。
(かん字は, しゅくだいとはべつの ノートに やりましょう。)
- 学校のドリルいがいのドリルや もんだいしゅうを ノートにといてもよいです。
(おうちの人に, まるをつけて もらいましょう。)
- ◆ ないようややりかたがわからない時は, 先生にそうだんしましょう。

じしゅ学がくしゅう チャレンジメニュー

【 ことば 】

- かん字のれんしゅうをする。
→ 家の人にテストをしてもらう。まちがった字は、れんしゅうする。
- ことばのなかまあつめをする。
- ことばのいみしらべをする。
- 教か書の文や詩をノートに書きうつす。
- 日記・詩・みじかい文を書く。
- いろいろな本を読む。本を読んで、おもったことを文に書く。

【 さん数 】

- 計算れんしゅうをする。
- 教か書やプリントのもんだいをとく。
→ 家の人にテストをしてもらう。
まちがったもんだいはやりなおし、できるようにする。
- 時計を読んだり、時こくや時間をしらべたりする。
- ものの長さをくらべたり、はかったりする。
- 形のなかまあつめをする。
- かいもののお手つだいをして、お金をはらったり、おつりをもらったりする。
- 百ます計算で、こたえを はやく正しく 書けるようにする。
- お話の もんだい作りをする。

(れい) 2×3 のもんだい

チョコレートが2こずつ、3人のお友だちにあげます。

チョコレートはぜんぶでいくついるでしょう。

しき $2 \times 3 = 6$ こたえ 6こ



【 そのほか 】

- そだてているしょくぶつや 虫の かんさつをして、つづけて記ろくする
- けんばんハーモニカの れんしゅうをする。
- なわとびや てつぼうなどの れんしゅうをする。
- 体力づくりをする。(おうちの人とラジオたいそう、ランニング
ウォーキング、ストレッチ・さか立ち…など)

おわったら



- ◇ れんらくちょうや 学しゅうしたプリント・ノートを、家の人にたしかめてもらい、かならず サインをして もらいましょう。
- ◇ 時間わりをたしかめて、あしたの用いを しましょう。
- ◇ えんぴつ・けしゴムなど、ふで入れの中を かくにんしましょう。
- ◇ 学しゅうしたところの せいとんを しましょう。



家庭学習の手引き

(3年生) 小川小学校



◎ 学校で学習したことがしっかりと身につくように、家でも自分から進んで取り組みましょう。

始める前に

- ◇ 決まった時間に決まった場所で、学習しましょう。
- ◇ まわりを整頓し、テレビや音楽、ゲームきは、消しましょう。



1 宿題（毎日かならず取り組みましょう）

- 音読（国語の教科書やいろいろな文章を、声に出して正しく読もう）
- 漢字練習（筆じゅんや正しい形、使い方をおぼえよう）
- プリント・算数ドリル・国語ドリル など

時間のめやす
50分くらい

2 自主学習（計画を立ててやりましょう）

<p>【国語の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 習った漢字を、ノートに練習する。じゅく語や文しょうで使い方を練習する。 ○ 国語じてんで言葉の意味調べをする。 ○ 詩や短文づくりをする。 ○ ローマ字の練習をする。 ○ 読書をして感想文やしょうかい文を書く。 ○ 作文を書く。 	<p>【算数の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や計算ドリルの問題を、くり返しとく。 ○ テストなどでまちがえた問題を、やり直す。 ○ コンパスやじょうぎなどの用具を正しく使って、図形や絵をかく。 ○ 長さやかさ、重さなどのたんいをふく習する。 ○ むずかしい問題にもちょうせんする。 ○ 答えがついている問題は自分で丸つけをする。
<p>【社会の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いわき市について調べる。（地区名や特産品、山や川の名前など） ○ 地図記号をおぼえる。 ○ 家のまわりにある店やしせつについて調べる。 ○ ニュース(新聞)を見て、その内容のしょうかい文や感想を書く。 	<p>【理科の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物やこん虫などの生き物をかんさつし、記ろくやスケッチをする。 ○ 星や月のかんさつや本で調べる。 ○ しぜんの中でふしぎに思ったことを調べる。 ○ じしゃくや電気のはたらきを生かしたおもちゃ作りにちょうせんする。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ じゅ業のノートをまとめ直したり、もつとくわしく知りたいことを、教科書やしりょうなどで調べる。 ○ リコーダーやけんぱんハーモニカの練習をする。音ぷや記号をおぼえる。 ○ なわとびやてつぼう、マラソンの練習をして、体力作りをする。 	

終わったら



- ◇ れんらく帳や 学習したプリント・ノートを、家の人にたしかめてもらい、かならず サインをして もらいましょう。
- ◇ 時間わりをたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ えんぴつ・消しゴムなど、ふで入れの中を かくにんしましょう。
- ◇ 学習したところの 整頓をしましょう。





家庭学習の手引き

(4年生) 小川小学校



◎ 学校で学習したことがしっかりと身につくように、家でも自分から進んで取り組みましょう。

始める前に

- ◇ 決まった時間に決まった場所で、学習しましょう。
- ◇ まわりを整頓し、テレビや音楽、ゲーム機は、消しましょう。



1 宿題（毎日必ず取り組みましょう）

- 音読（国語の教科書やいろいろな文章を、声に出して正しく読もう）
- 漢字練習（筆順や正しい形、使い方をおぼえよう）
- プリント・算数ドリル・国語ドリル など

時間のめやす
60分くらい

2 自主学習（計画を立ててやりましょう）



【国語の例】

- 習った漢字を、ノートに練習する。じゆく語や文章で使い方を練習する。
- 国語辞典や漢字辞典で意味調べをする。
- 詩や短文づくりをする。
- ローマ字の練習をする。
- 読書をして感想文やしょうかい文を書く。
- 作文を書く。



【算数の例】

- 教科書や計算ドリルの問題を、くり返しとく。
- テストなどでまちがえた問題を、やり直す。
- コンパスやじょうぎなどの用具を正しく使って、図形や絵をかく。
- 長さやかさ、重さなどの単位を復習する。
- むずかしい問題にもちようせんする。
- 答えがついている問題は自分で丸つけをする。

【社会の例】

- 福島県の市町村や特色について調べる。
- 都道府県について調べる。（県庁所在地や特色、特産品など）
- 地図記号をおぼえる。
- ニュース（新聞）を見て、その内容のしょうかいと感想文を書く。



【理科の例】

- 季節ごとに植物や生き物の様子を観察・記録する。
- 星や月の観察や本で調べる。
- 自然の中でふしぎに思ったことを調べる。
- 空気やじしゃく、電気のはたらきを生かしたおもちゃ作りにちようせんする。

【その他】

- 授業のノートをまとめ直したり、もっとくわしく知りたいことを、教科書やし料などで調べる。
- リコーダーやけんぱんハーモニカの練習をする。音ぷや記号をおぼえる。
- なわとびや鉄ぼう、マラソンの練習をして、体力作りをする。



終わったら



- ◇ 連らく帳や学習したもの（宿題・自主学習など）を、家の人にたしかめてもらい、必ずサインをしてもらいましょう。
- ◇ 時間わりをたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ えんぴつ・消しゴムなど、筆入れの中をかくにんしましょう。
- ◇ 学習したところの整頓をしましょう。



家庭学習の手引き (5年生) 小川小学校



◎ 学校で学習したことがしっかりと身につくように、家でも自分から進んで取り組みましょう。

始める前に

- ◇ 決まった時間に決まった場所で、学習しましょう。
- ◇ まわりを整頓し、テレビや音楽、ゲーム機は、消しましょう。

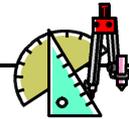


1 宿題（毎日必ず取り組みましょう）

- 音読（国語の教科書やいろいろな文章を、声に出して正しく読もう）
- 漢字練習（筆順や正しい形、使い方をおぼえよう）
- プリント ○ 作文・詩（週末の課題） など

時間のめやす
70分くらい

2 自主学习（計画を立ててやりましょう）



【国語の例】

- 習った漢字を、字形・筆順、読みに気をつけて練習する。漢字で、熟語や短文を作る。
- 国語辞典や漢字辞典で意味調べをする。
- 詩や作文を書く。
- 読書をして感想文やしょうかい文を書く。
- 新聞を読んで、興味のある記事について、要旨をまとめたり、考えを書いたりする。

【算数の例】

- 教科書や計算ドリルの問題をくり返し解く。
- テストなどでまちがえた問題を、やり直す。
- コンパスや分度器などの用具を使って、正しく作図できるようにする。
- 文章問題など、むずかしい問題にもちよう戦する。
- 答えがついている問題は自分で丸つけをする。

【社会の例】

- 日本の地理や産業などについて調べる。
- 世界の国々との関わりについて調べる。
- 習ったことをグラフや表、地図なども加えてくわしくまとめる。
- もっとくわしく知りたいことを、教科書や資料集などで調べ、まとめる。



【理科の例】

- 植物や生き物の成長の様子を観察・記録する。
- 天気予報や新聞の天気図を見る。天気や雲の観察をする。
- 自然の中でふしぎに思ったことを調べる。
- 実験や観察のしかたや結果を、順序よくまとめる。

【その他】

- 予習・復習をする。（授業のノートをまとめ直す。教科書を読む。分からないところを調べる。）
- なわとびや鉄ぼう、マラソンの練習をして、体力作りをする。
- 様々な分野の本を読み、将来のことや自分の生き方について考える。

終わったら



- ◇ 連らく帳や学習したもの（宿題・自主学习など）を、家の人にたしかめてもらい、必ずサインをしてもらいましょう。
- ◇ 時間わりをたしかめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ えんぴつ・消しゴムなど、筆入れの中をかくにんしましょう。
- ◇ 学習したところの整頓をしましょう。



家庭学習の手引き (6年生) 小川小学校



◎ 学校で学習したことがしっかりと身につくように、家でも自分から進んで取り組みましょう。

始める前に

- ◇ 決まった時間に決まった場所で、学習しましょう。
- ◇ まわりを整頓し、テレビや音楽、ゲーム機は、消しましょう。

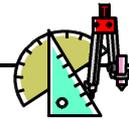


1 宿題（毎日必ず取り組みましょう）

- 音読（国語の教科書やいろいろな文章を、声に出して正しく読もう）
- 漢字練習（筆順や正しい形、使い方をおぼえよう）
- 計算ドリル
- 作文（行事後や週末の課題） など

時間のめやす
80分くらい

2 自主学习（計画を立ててやりましょう）



【国語の例】

- 習った漢字を、字形・筆順、読みに気をつけて練習する。漢字で、熟語や短文を作る。
- 国語辞典や漢字辞典で意味調べをする。
- 詩や作文を書く。
- 読書をして感想文やしょうかい文を書く。
- 新聞を読んで、興味のある記事について、要旨をまとめたり、考えを書いたりする。

【算数の例】

- 教科書や計算ドリルの問題をくり返し解く。
- テストなどでまちがえた問題を、やり直す。
- コンパスや分度器などの用具を使って、正しく作図できるようにする。
- 文章問題など、むずかしい問題にもちよう戦する。
- 答えがついている問題は自分で丸つけをする。

【社会の例】

- 歴史上の人物や時代ごとに起こった出来事などを、資料集などでくわしく調べ、新聞などにまとめる。
- 世界の出来事や文化、世界遺産などを教科書や資料集などでくわしく調べる。

【理科の例】

- からだのつくりや地球のしくみなどについてくわしく調べ、図などにまとめる。
- 月と太陽の動きを観察・記録する。
- 自然の中でふしぎに思ったことを調べる。
- 実験や観察方法や結果を、順序よくまとめる。

【その他】

- 予習・復習をする。（授業のノートをまとめ直す。教科書を読む。分からないところを調べる。）
- なわとびや鉄ぼう、マラソンの練習をして、体力作りをする。
- 様々な分野の本を読み、将来のことや自分の生き方について考える。

終わったら



- ◇ 連らく帳や学習したもの（宿題・自主学习など）を、家の人に確かめてもらい、必ずサインをしてもらいましょう。
- ◇ 時間割りを確かめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ えんぴつ・消しゴムなど、筆入れの中を確認しましょう。
- ◇ 学習したところの 整頓をしましょう。

《家庭学習の手引き》(保護者用)

いわき市立小川小学校

現代の子どもたちは、テレビやゲームなど誘惑が多い環境の中で、家庭学習に取り組んでいかなければなりません。そのため、「自分で学習や生活を改善する力」つまり『自己マネジメント力』を育成する必要があります。次のような計画のもと、ご家庭で実践していただき、お子さんが自主的に家庭学習に取り組む習慣がつくよう、環境を整えていきましょう。

やること

- 1 音読
- 2 宿題：国語(ドリル)・算数(ドリル)、漢字、プリント、作文・日記 など
- 3 自主学習・読書(学年が進むにつれて増やしていきましょう。)



1年	30分	音 読	宿 題	自主 学習 ・ 読書
2年	40分			
3年	50分			
4年	60分			
5年	70分			
6年	80分			

○ 低学年は、家族がそばにいて、家庭学習の取り組みを確認しましょう。
(一緒にできない場合は、あとで必ず確認してあげましょう。)

○ 中学年は、学習の始めと終わりを確認しましょう。

○ 高学年は、学習の終わりには確認しましょう。

中・高学年は、宿題だけで満足させないで、自主学習や予習もさせましょう。

家族は、どう関わればいいのか？

- 1 心の支え … 家庭学習が終わった後にチェックをし、確認印を押したり、コメントを書いたりしましょう。また、お子さんのがんばりには、励ましの言葉をかけてあげましょう。
- 2 環境づくり … 家庭で話し合っ、家庭学習のルールを決めましょう。テレビを消す、ゲームをしない、食べたり飲んだりしない等、学習に集中できる環境づくりをしましょう。親子でニュースや新聞を見て、社会の出来事や学校の様子を食事や団らんの時間の話題にしましょう。
- 3 習慣づくり … 家族みんなで規則正しい生活を心がけましょう。「起床・就寝時刻」「学習を始める時刻」等を決めましょう。

💡 家庭学習は何のためにするの？

- 1 家庭でも学習することにより、自ら学ぼうとする習慣を身につけます。
低学年から身につけさせることが大切です。中学生になってからも継続させることができます。
- 2 学校で学んだことを確実に定着させ、理解を深めます。
「わかった」だけでは、「できた」自信にはつながりません。繰り返し復習してこそ、確実に定着し、次の学習への意欲を高めることができます。
- 3 脳の活性化を図り、がまん強さ・根気・集中力を養います。
読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。また、テレビやゲームの誘惑に打ち勝ち、集中して学習に取り組むことにより、様々な活動における基本的な態度の育成につながります。



家庭学習 Q & A



Q1 家庭学習への意欲をもたせるためには どうしたらよいか？

「今日学習したことで、難しかったことは何？」「楽しかったことは何？」など、一日の学習を思い出させるような声かけをしてみましょう。そこから「よく分からなかったところや間違いが多かったところを、もう一度復習してみよう。」など、子どもなりに学習のめあてをもつようになると思います。いつも決まったことばかりではなく、授業に役立つような内容に取り組みせたり、興味のあることを追究させたりすることは、今後に大いに役立ちます。

Q2 自主学習に、何をやっていいかわからない子どもには どうしたらよいか？

宿題は課題としてやらなければならないものです。最後まで、しっかり取り組みませましょう。自主学習は、主体的に取り組む習慣をつけさせることに意義があります。何をやるかについては、学年によっても異なりますが、各学年の「家庭学習の手引き」をもとにアドバイスをし、学習に取り組む雰囲気づくりをしていくことも意欲につながります。なお、毎日同じ教科・同じ内容の学習にならないように、曜日によって教科をかえることも一つの方法です。

Q3 本好きな子どもに育てるには どうしたらよいか？

低学年なら、ひざに乗せるなどしてスキンシップをしながら、読み聞かせ。お父さんやお母さんのぬくもりが安心感や楽しさにつながります。中・高学年になったら、大人も子どもの本を読み、その感想などを話題にすると効果的です。

Q4 だらだらと勉強して集中できない子どもは どうしたらよいか？

帰宅してからいつまでも家庭学習に取り組まない子や、始めても途中で飽きてしまっただけでしまう子が、見受けられます。まず、始まりの時刻を決め、宿題にかかった時間を宿題のノートの上などに記録させると効果的です。「昨日は漢字1ページに○分しかかったけど、今日は△分縮まったよ。」などと、集中して取り組むようになります。

Q5 計算力をつけるには どうしたらよいか？

5～10問ぐらいを、毎日続けて練習することがポイントです。大切なことは、正確さです。最初のうちは時間を気にせず、ゆっくりでも正確に解けるように声をかけてください。それができるようになってきたら、時間を計るなどして、「速さ」を意識させていきましょう。

Q6 漢字を覚えられない子どもは どうしたらよいか？

毎日漢字を練習しているのに、正しく覚えられないのは、機械的に練習をしているからだと考えられます。ある程度練習を重ねたら、読み仮名だけを最初に書いて、テスト形式で漢字を書くなどの方法をとってみましょう。反対に、漢字だけを先に書いて、読み仮名を後から書き加えて、テストするのもよいでしょう。

Q7 応用力や思考力をつけるには どうしたらよいか？

「文章問題が苦手」という子どもは、問われている内容をきちんとイメージできていないことが多いようです。まず、問題を理解させるために、「分かっていることは何か」「聞かれていることは何か」をはっきりさせることから始めましょう。その際、問題文の大切なところに線を引かせながら解かせるのは効果的です。また、具体物や絵・図・表などを使って考えさせることも大切です。

家庭学習の手引き【生徒用】

いわき市立小川中学校

「わかる」ではなく「できる」ようになる学習をしなくてはなりません。繰り返し復習して、確実に定着させることが大切です。

始める前に

- 決まった時間に決まった場所で学習しましょう。
- 学習する場所を整理し、テレビや音楽は消しましょう。

時間のめやすは

学 年	平日（授業日）
1 年生	1 時間 3 0 分以上
2 年生	1 時間 3 0 分以上
3 年生	2 時間以上

テスト前や部活動を引退した3年生、夏休み等を含む休日は、別に時間を設定する必要があります。

家庭学習に良い習慣

「早寝、早起き、朝ごはん」は生活リズムの原則です。生活のリズムを整えることがみなさんには大切になってきます。家庭学習や生活習慣についてチェックしてみましょう。

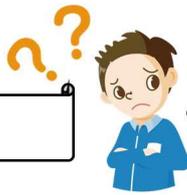
睡眠時間のめやす → 7～8時間

就寝時刻のめやす → 午後10時～11時

- 学習する場所を整理している。
- 正しい姿勢で学習している。
- 目標をもって学習している。
- 時間や教科などの家庭学習の計画を立てて学習している。
- 学習する時間帯を決めている。
- 宿題以外の学習もしている。
- テレビや音楽を消して学習している。
- テレビやゲーム、スマホ利用等のルールを決めている。
- 様々な分野の本や新聞を読んでいる。
- 睡眠時間を7～8時間程度とっている。
- 夜11時までには、就寝している。
- 毎朝、食事をしている。
- 毎日、家族で学校のことを話題にした会話がある。



家庭学習の内容・方法



毎日何をどのように勉強すればいいの？

教科	【 】: 学習内容 ◇: 具体的な学習方法
国語科	<p>【授業の復習】 ◇その日の授業の最初から最後まで“流れ”を思い出しましょう。先生が何を聞いて、誰が何を答えたか。なぜそのようなまとめになったのかなど、ノートを使って授業の様子を思い出す。 ◇板書事項や学習した内容を、もう一度ノートに丁寧にまとめる。</p> <p>【問題練習】 ◇ワークや教科書に載っている練習問題、過去のテストなどを解く。書店等で問題集などを購入して解くのも効果的です。その際は、少し難しめの問題集の方が力が付きます。 ◇受験勉強が始まったら、同じ単元の問題を違う出版社の問題集で解くのもいいでしょう。同じ問題でも違う答えになっているものもあります。なぜそのような答えになったのか、よく確認しておきましょう。</p>
社会科	<p>【授業の復習】 ◇地理的分野の場合は、地図帳や教科書をみて授業の流れを確認しよう。歴史的分野の場合は、重要語句を覚えるだけではなく、出来事がどのように関連しているのか、整理してみよう。公民的分野は、現代のことなので自分の生活とのつながりを考えて、友人に説明できるような段階まで理解し、自分の言葉でまとめてみよう。</p> <p>【ノート整理と問題練習】 ◇ノートの未記入の部分を利用して白地図にまとめたり、イメージマップ等を描いたりするなど、覚える時間と作業的な時間を設定してみよう。また、年表にまとめたり、難しい漢字を積極的に覚えたりすることも大切です。 ◇ワークは授業に応じて解き、採点しよう。小テストや単元のまとめなどのプリントを定期的に、繰り返し解いてみよう。</p>
数学科	<p>【授業の復習】 ◇授業で理解できなかった部分がある場合は、教科書やノートを見て内容を復習する。その後学校の問題集を利用して、問題に取り組み、本当に理解しているかを確認する。 ◇授業内容が理解できた場合は、学校の問題集等を利用して類似問題に取り組み。</p> <p>【問題練習】 ◇自分に合ったレベルの問題集（基礎編、発展編等）を利用して、授業の復習を行う。 ◇3年生は、高校入試対策用の問題集（問題が単元ごとに分類されていて、解説が詳しいもの）に取り組み、1、2年生の復習を行う。※1、2年生もこの学習方法は効果的です。</p>
理科	<p>【授業の振り返り】 ◇その日の授業内容を思い出そう。具体的に「どんな課題だったか」「先生が何を言ったか」「友達が何と言ったか」「教科書のどの図を見たか」「課題に対してどんなまとめだったか」等です。思い出せなかった点に対して、教科書を見たり、友達や先生に質問したりして確認しよう。</p> <p>【問題練習】 ◇問題を解くことが、授業の復習につながります。その日に習った部分の問題は、その日のうちに解く習慣をつけましょう。長期休暇では、それまでに習った部分の問題を一通り解きます。テストで代用しても良いです。正答率の低い分野は、苦手な分野なので、複数回解き直しましょう。 ◇問題を解いたら、丁寧に正解か不正解かの確認をします。そして、次に同じような問題が出たときにどうすれば正解になるかの自分なりのポイントをまとめます。自分オリジナルの解説がつくれるようになると非常に良いです。</p>
英語科	<p>【授業の復習】 ◇授業で習った新出単語、熟語、基本文などをノートなどに練習する。その際、ただ書いて終わるのではなく、意味やスペルを暗記すること、意味を見て正しく書けることなどができるようになるまでくり返し練習する。 ◇教科書本文をくりかえし読む。その際、正しく読むことと、読みながら意味をつかむことができるようになるまでくり返す。</p> <p>【問題練習】 ◇ワークや定期テスト、実力テストの問題を何度もくり返す。 ◇長文対策として、3年生は色ナビの長文を何度も解き直すこと、また、高校入試対策用の問題集等を用いて、1、2年生の復習をすること。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や生活の中にある「美」に目を向けよう。 ・1日20分は運動しよう。 ・食事やお弁当をつくろう。 ・家庭にある、道具、機器、電化製品に関心を持ち、積極的に活用しよう。 ・演奏会や音楽会など進んで聴く機会を持とう。 ・ノートにまとめるだけではなく、まとめたものを覚える学習をしましょう。 ・積極的に読書を行いましょう。 ・新聞に目を通して、社会の動きに関心を持ちましょう。



家庭学習の手引き【保護者用】

いわき市立小川中学校

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習（宿題＋自主学習）に取り組んでいくこととなります。そのため、「自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になってきます。

この手引きをきっかけにして、お子さんが自主的に家庭学習に取り組む習慣が身につくよう、環境を整えていきましょう。

家庭学習を把握

学習は「量ではなく質」ですが、家庭学習の時間の目安は次の通りです。

学年	部活動あり（平日）
1年生	1時間30分以上
2年生	1時間30分以上
3年生	2時間以上

テスト前や部活動を引退した3年生、夏休み等を含む休日は、別に時間を設定する必要があります。

「わかる」ではなく「できる」学習をしなくてはなりません。繰り返し復習して、確実に定着させることが大切です。

- お子さんはノートにまとめるだけでなく、覚える学習をしていますか。
- お子さんは問題集等を活用して、授業の復習や覚えたことを活用する学習をしていますか。
- お子さんは理解できないところは、質問したり教科書を利用したりして解決していますか。

家族の関わり

- **心の支え**…コミュニケーションを大切にして、お子さんの言葉に耳を傾けてみましょう。お子さんの頑張りをほめたり、自分の成功体験や失敗体験を話したりしてみましょう。
- **環境づくり**…学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。興味をもちそうな本や新聞記事を紹介したり、学校の様子を話したりしてみましょう。
- **習慣づくり**…早寝・早起きやお手伝いの習慣を身につけさせましょう。朝ごはんは、必ず「毎日」できるだけ「みんなで」食べましょう。ゲームやスマホなどをするときのルールを決めましょう。

家庭学習に良い習慣

家庭学習や生活習慣についてチェックしてみましょう

- 学習する場所を整理している。
- 正しい姿勢で学習している。
- 目標をもって学習している。
- 時間や教科などの家庭学習の計画を立てて学習している。
- 学習する時間帯を決めている。
- 宿題以外の学習もしている。
- テレビや音楽を消して学習している。
- テレビやゲーム、スマホ利用等のルールを決めている。
- 様々な分野の本や新聞を読んでいる。
- 睡眠時間を7～8時間程度とっている。
- 夜11時までには、就寝している。
- 毎朝、食事をしている。
- 毎日、家族で学校のことを話題にした会話がある。

「早寝、早起き、朝ごはん」は生活リズムの原則です。生活のリズムを整えることが子どもたちには大切になってきます。学校でも家庭でも、いきいきと生活・学習ができるように、規則正しい生活を送らせてください。

睡眠時間のめやす → 7～8時間

就寝時刻のめやす → 午後10時～11時

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤勉性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。

保護者の皆様へ

いわき市立小川小学校長 鈴木 陽子

家庭学習習慣点検およびノーメディア運動の実施について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。常日頃の本校教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

さて、本年度も「学びのスタンダード推進事業」の一環として、「家庭学習習慣の定着」に力を入れています。授業で学んだことを家庭でも振り返り、繰り返し取り組むことによって、学びの連続性が形成され、学習がより深まることが期待されます。しかし、小川地区内の子どもたちにおいても、年々携帯電話やゲーム機の所持率が高くなり、メディアに多くの時間を費やすことで、生活のリズムが崩れたり、家庭学習などやるべきことがおろそかになったりするなどの実態が一部の児童・生徒に見られるようです。

そこで、次のように「家庭学習習慣点検」および「ノーメディア運動」日を設定し、お子さんと一緒に家庭学習や生活習慣の定着や、メディアとのつきあい方について考える機会としたいと思います。

つきましては、毎月配付されます「家庭学習習慣およびノーメディア運動点検カード」の内容に従って、お子さんの家庭学習や学習用具の準備などの確認や、ノーメディアへのチャレンジに取り組んでいただき、「点検カード」の記入にご協力くださいますようお願いいたします。

※「ノーメディア運動」とは

テレビ、パソコン、ビデオ（DVD）、ゲーム、スマートフォンなどの「メディア」の使い方について考えるとともに、子どもたちの生活習慣の確立および時間の有効活用を図っていこうとする運動

1 実施日 毎週水曜日

2 実施内容

(1) 家庭学習習慣の点検

- 家庭学習の目標の設定
- 家庭学習時間および家庭学習の進め方の点検
- 音読・読書の習慣化
- 翌日の学習用具（教科書・ノート・筆入れの中身など）の確認
 - ※ 鉛筆・・・持ちやすい長さで、学習に集中できるもの
 - ※ 定規・・・透明なタイプが望ましい



(2) ノーメディア運動へのチャレンジ

- 各家庭の実情に応じて次の目標レベルから選択し、チャレンジする。

{	レベル1	食事中と学習中はメディアを使わない
	レベル2	メディアの使用は一日1時間以内にする
	レベル3	家に帰ってからメディアを使わない
	レベル4	一日中メディアを使わない



3 実施方法

- 月ごとに点検カードを配付し、家庭学習ファイルなどに貼付します。お子さんの様子を確認のうへ、一緒に点検・評価してください。月末のコメントもお願いします。
- 学習内容については、ノートやプリントなどを実際にご覧になり、確認をお願いします。
- 学習用具の準備については、次のようお願いします。
 - ※ 低学年・・・一緒に。
 - ※ 中学年・・・お子さんが準備した後、実際に確認する。
 - ※ 高学年・・・お子さんが準備した後、時々実際に確認する。

かてい学習しゅうかん および ノーメディアうんどう 点けんカード (11月)

小川小学校 ()年 名前 ()

下のノーメディアうんどうの目ひょう (レベル1~4) からじぶんの目ひょうをきめ、計画を立てて
 ちょうせんしましょう。また、かてい学習のしゅうかんが身につくように、がんばりましょう。

- レベル1 食^{しょく}中^{ちゆう}と学習^{がくしゆう}中^{ちゆう}はメディアをつかわない
- レベル2 メディアをつかうのは一日^{いちにち}1時間^{じかん}以内^{ない}にする
- レベル3 家^{いえ}にかえってからメディアをつかわない
- レベル4 一日^{いちにち}中^{じゆう}メディアをつかわない



今^{こんげつ}月の目ひょうレベルは
 レベル []

こう目 ^{もく}		月 日	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)
ノー メディア	自分 ^{じぶん} ができたレベル1~4をかこう (自分の目ひょうがたっせいできるといいね)					
か て い 学 し ゆう し ゆう かん ◎ ○ △ ×	学年 ^{がくねん} の学習 ^{がくしゆう} 時間 ^{じかん} は [] 分		分	分	分	分
	自分 ^{じぶん} のかてい学習 ^{がくしゆう} の目ひょう []					
	きまった時間 ^{じかん} にけいかくてきに学習 ^{がくしゆう} した					
	きょう 今日のしゅくだいをおわらせた					
	テレビなどをけし、しゅう中 ^{ちゆう} して学習 ^{がくしゆう} した					
	いえ ひと まえ おと 家の人の前で、音どくをした					
	いえ 家でどく書をした (先しゅう木よう日~今日まで)					
	あ す 明日の学習用具を点けんした					
ふで入れの中 ^{なか} をかくにんした (えんぴつ・けしゴムなど)						
保護者 サイン	おうちの方は必ず確認をし、サイン(自筆)を して~~~~~(はんこ不可)					
担 任 印						
《 月のはんせい 》		《 おうちの方から (毎月最終チャレンジ日) 》				

家庭学習習慣 および ノーメディア運動 点検カード (11月)

小川小学校 ()年 名前 ()

下のノーメディア運動の目標 (レベル1～4) から自分の目標を設定し、計画を立ててちょうせんしてみましよう。また、家庭学習の習慣がしっかりと身につくように、自分の生活を見直しましよう。

- レベル1 食事中と学習中はメディアを使わない
- レベル2 メディアの使用は一日1時間以内にする
- レベル3 家に帰ってからメディアを使わない
- レベル4 一日中メディアを使わない



今月の自分の目標レベルは
 レベル []

こう目		月 日	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)
ノーメディア運動	自分が達成できたレベル1～4を書こう (自分の目標レベルが達成できるといいね)					
家庭学習習慣	学年の学習時間は [] 分		分	分	分	分
	自分の家庭学習の目標 []					
	決まった時間帯に計画的に学習を進めた					
	今日の宿題・やるべき課題を終わらせた					
	テレビなどを消し、集中して学習した					
	家の人の前で、音読をした					
	◎ 家で読書をした (先週木曜日～今日まで)					
	○ 明日の学習用具を点検した (前日に行う)					
△ 筆入れの中を確認した (えんぴつ・消しゴム・じょうぎなど)						
×						
保護者サイン	おうちの方は必ず確認をし、サイン(自筆)をしてください。(はんこ不可)					
担 任 印						
《 月の反省 》			《 おうちの方から (毎月最終チャレンジ日) 》			